

Ogura® BAR CUTTER

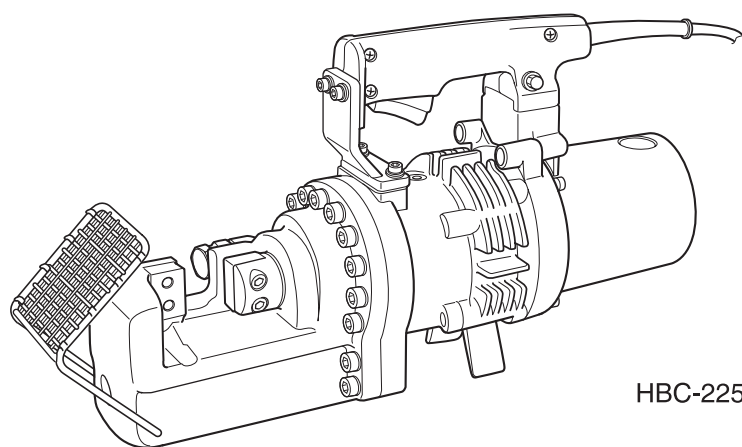
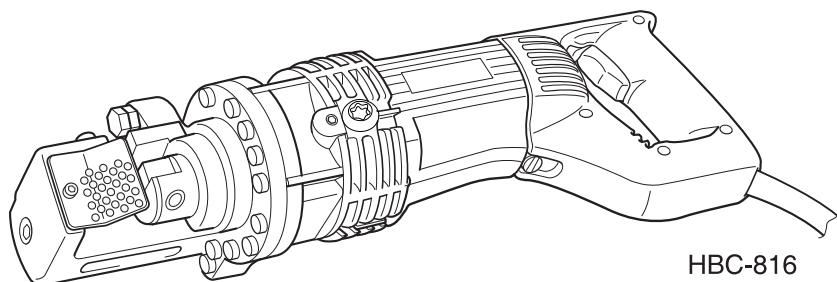
電動油圧式鉄筋切断機

Model: HBC-613・316

HBC-816・519

HBC-22・225・232

取扱説明書



弊社製品を安全にご使用いただくために、取り付けおよび操作の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、必要なときに参照できるようお手元に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	3	刃物の取り付け・取りはずし方	10
仕様	8	操作方法	11
各部の名称	9	保守・点検について	14

安全上のご注意

注意文の 警告 注意 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 **警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **注**：製品および付属品の取扱等に関する重要なご注意。

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
5. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
7. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
8. 作業にあった電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。



警告

9. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
- ・頭部保護のためヘルメットを着用してください。

10. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。

11. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

12. 加工するものをしっかり固定してください。

- ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち油やグリースが付かないようにしてください。

15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物等の付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。

16. レンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態でスイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確かめてください。

18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合は、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

20. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した製品や、落したり、何らかの損傷を受けた製品は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。



警告

- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所で修理を行ってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない場合は、使用しないでください。
- 2 1. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
- 2 2. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
 - ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- 2 3. 防音保護具を着用してください。
- ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤーマスクなどの防音保護具を着用してください。
- 2 4. 作業時の怪我に注意してください。
- ・鉄筋を切断する際には、本体が振られたり、倒れたりして配筋された鉄筋や壁などに手指がはさまれないように十分注意してください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電動油圧式鉄筋切断機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。



警告

- 二重絶縁仕様でない製品については、かならず接地（アース）してください。故障や漏電のときに感電の恐れがあります。
- 鉄筋を切断する際には切断片が飛ぶことがあります。ご使用時には周囲の安全に十分ご注意ください。また、作業者(機械の使用者)は鉄筋を切断する側へ顔や手など身体が近づくような姿勢を絶対にとらないでください。切断片が飛んで負傷する恐れがあります。
- 鉄筋を短かく切断する際に、切断の方向や鉄筋の材質などの条件によっては、切断片が異常に高く跳ねたり、強く飛んだりして負傷する恐れがあります。本書の「操作方法」部分の記述をよくお読みください。
- 磨耗したり、変形、破損、亀裂などが生じた部品は、製品本体の故障の原因となる恐れがあるだけでなく、さらに重大な事故の原因となることもありますので、すみやかに **Ogura** 純正の新しい部品と交換してください。
- 電源はかならず単相交流 100 ボルトにて、ご使用ください。
電源が離れていて延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。（延長コードは、アース線を備えた3芯コードをお使いください。）

コードの太さ（導体公称断面積）

1.25mm²

2.00mm²

コードの限界長さ

15m

30m

- ご使用の前に各部のボルトの締め付けを確認し、必要に応じて「増し締め」をしてください。



注意

感電事故の防止を！

- 万一の感電事故を防止するために、漏電しゃ断器の設置された電源に接続されることをおすすめます。

騒音防止規則を守る！

- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周辺に迷惑をかけぬよう、規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

機械の準備！

- 機能に適した用途以外や、指定外の刃物は使用しないでください。また、使用限界が表示されているものは必ずその範囲内で使用してください。
- ネジ類などはゆるんだり、脱落していませんか？運転前に必ず確認してください。

使用電源は正しい電圧で！

- 電源は必ず銘板に表示してある電圧でお使いください。表示以上の電圧で使用されますと回転が異常に高くなり大変危険です。また逆に低い電圧で使用されますとモーター故障の原因となります。

注意

機械ご使用上の留意点！

- 常に足場に注意し、機械のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業してください。
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。
- 機械の運転中には刃物類や他の回転部、摺動部および切り屑の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- 機械の連続使用などにより、機械本体の表面温度が70℃以上になりますと、性能の低下が起きることがありますので、このような場合には30分から1時間ほど使用をやめて機械の表面温度が下がってからご使用ください。
- モーターのカーボンブラシは、およそ200時間ご使用時に新しいものと交換してください。カーボンブラシの長さが5～6mm以下になりますと、モーター自体を損傷する恐れがありますので、ご注意ください。

機械の保護！

- 機械は大切に取り扱いってください。誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠などが変形したり、亀裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。

- 機械の風窓はモーターを冷やすのに必要な部分です。もしふさいだりしますとモーター燃損の原因となりますので注意してください。

機械の点検・整備・保管にも気を配る！

- 使用後の機械は手入れをし、常に最良の状態を保ってください。特にモーター部やスイッチ部のほこりは常に拭き取るよう心がけてください。
- 部品交換の際は必ず指定された純正部品をお使いください。
- いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- 機械の作動に不具合や異常がある場合には、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご相談ください。機械内部は高い精度で加工された部品が組み込まれていますので**絶対に分解はしないでください。**
- 本機は油圧オイルを使用しておりますので、気温、室温が低い場合や、使いはじめには、2～3分ていどの暖気運転（無負荷運転）を行ってください。

※ 修理／点検はお買い求めの販売店、または弊社支店・営業所にお申しつけください。

仕様

型 式	HBC-613	HBC-316	HBC-816	HBC-519	HBC-22	HBC-225	HBC-232
モーター 単相 100V 50/60Hz	710W (消費電力) 二重絶縁	580W (消費電力) 二重絶縁	1050W (消費電力) 二重絶縁	1330W (消費電力) 二重絶縁	700W (消費電力)	1430W (消費電力) 二重絶縁	
質 量	7.3kg	5.8kg	8.8kg	12.2kg	14.2kg	22kg	37.6kg
本体外形寸法 (L×W×H)	447×151×110mm	378×205 ×108mm	492×165 ×120mm	396×112 ×220mm	414×112 ×238mm	480×138 ×268mm	543×167.5 ×289mm
切断能力	SD345相当鉄筋 490N/mm ² (50kgf/mm ²) 最大D13 (1/2")	SD345相当鉄筋 490N/mm ² (50kgf/mm ²) 最大D16 (5/8")	SD490 相当鉄筋 ※1 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D16 (5/8")	SD490 相当鉄筋 ※2 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D19 (3/4")	SD345相当鉄筋 490N/mm ² (50kgf/mm ²) 最大D22 (7/8")	SD490 相当鉄筋 ※2 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D25 (1")	SD490 相当鉄筋 ※2 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D32 (1 1/4")
	SD390、490相当鉄筋 ※1 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D10 (3/8")	SD390、490 相当鉄筋 ※1 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D13 (1/2")			SD390、490 相当鉄筋 ※1 620N/mm ² (63kgf/mm ²) 最大D19 (3/4")		
切断速度	1.5秒	2.5秒	1.5秒	2.5秒	4秒	3.5秒	7秒
標準付属品	六角棒レンチ (4)	六角棒レンチ (4)	六角棒レンチ (3・4)	六角棒レンチ (4・5)	六角棒レンチ (4)	六角棒レンチ (4・6)	
	スパナ (14×17)	スパナ (17×19)	スパナ (17×19)	スパナ (19×22)	スパナ (24)	スパナ (30)	
商品ケース							
—				接地アダプター			
				—			

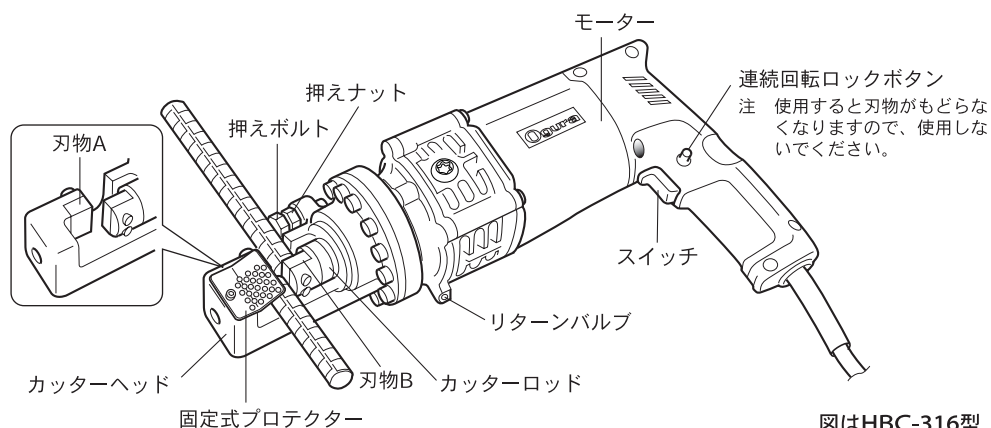
※ 1 SD390 以上の鉄筋を切断する場合は、SP 刃物（オプション）をご使用ください。

※ 2 HBC-232, 225, 519 は SP 刃物が標準となります。

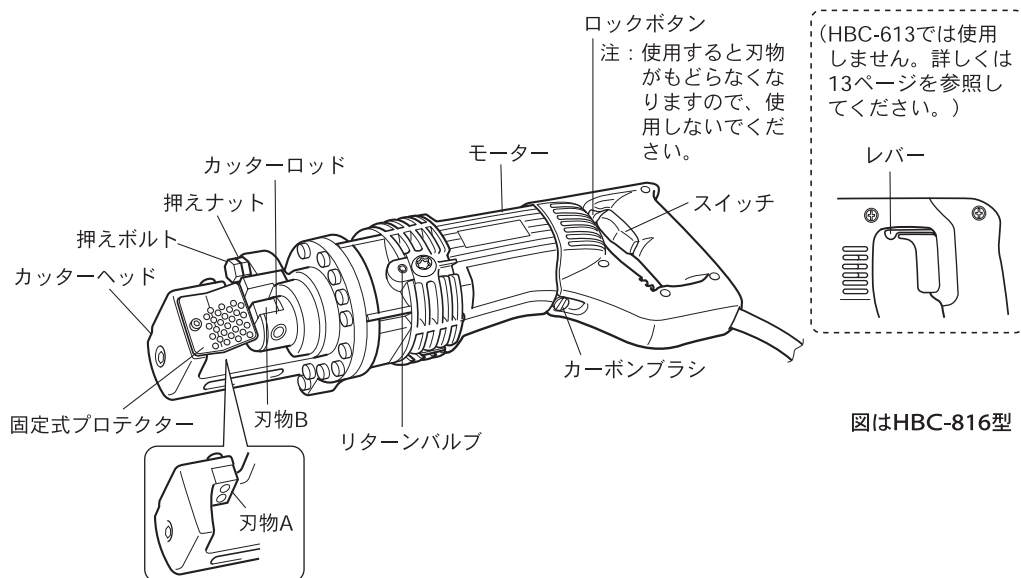
注：始業前点検として、あるいはご使用後に、各部のボルトの「増し締め」とカーボンブラシの消耗・破損の点検を励行してください。

● 改良のため、仕様および形状などは予告なしに変更することがあります。

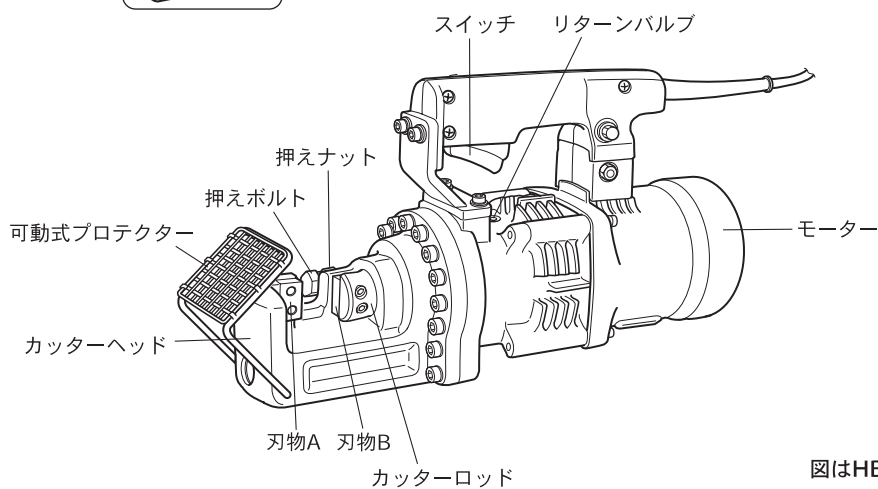
各部の名称



図はHBC-316型



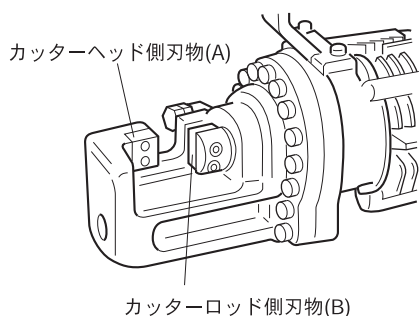
図はHBC-816型



図はHBC-519型

刃物の取り付け・取りはずし方

注) 説明を解かりやすくするために、イラストにはプロテクターが表示されていません。
切断作業する場合に「プロテクター」は絶対に外さないでください。



⚠ 警告

刃物の取り付け・取りはずしの際は必ずプラグを電源から抜いてください。

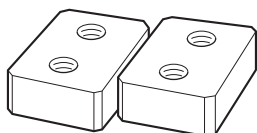
・本体が作動して、けがの恐れがあります。

注

刃物を交換される場合は次の手順で取り替えてください。

1. 刃物はカッターヘッドに取り付けられる刃物(A)と、カッターロッドに取り付けられる刃物(B)とがあります。
取り付け位置を間違えないよう正しく取り付けてください。
2. カッターヘッドとカッターロッドの刃物を取り付けている六角穴付ボルト(4本)を取りはずしてください。
3. カッターヘッドとカッターロッドの刃物取り付け部の汚れやゴミを取り除いてください。
4. 刃物(A)をカッターヘッドに、刃物(B)をカッターロッドに六角穴付ボルトと座金でしっかり締め付けてください。(図参照)

■電動油圧式鉄筋切断機の替刃の種類



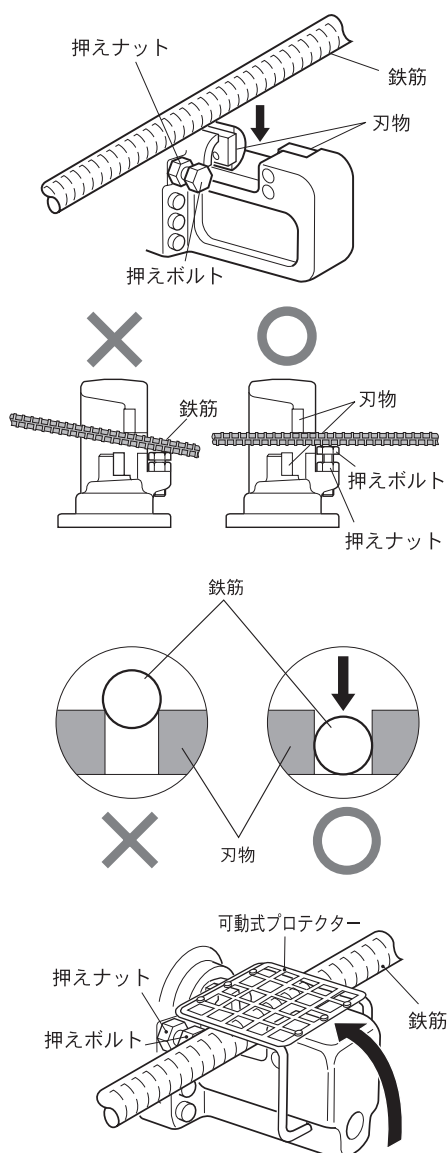
ボルトで締め付けて確実に固定してください。
定期的に締め付けを確認してください。

替刃サイズ表

機 種	A(カッターヘッド側)	B(カッターロッド側)
HBC-313 (φ3~φ13mm)	20×15×9mm-M5 2穴	20×15×8mm-M5 2穴
HBC-613 (φ3~φ16mm)	22×17×9mm-M5 2穴	
HBC-816 (φ3~φ16mm)	26×20×10mm-M5 2穴	21×20×10mm-M5 2穴
HBC-519 (φ3~φ19mm)	28×20×11.5mm-M6 2穴	26×20×10mm-M5 2穴
HBC-22 (φ3~φ22mm)	30×24×11mm-M5 2穴	
HBC-225 (φ4~φ25mm)	36×28×13mm-M8 2穴	
HBC-232 (φ4~φ32mm)	44×36×16mm-M8 2穴	

操作方法

注) 説明を解かりやすくするためにイラストにはプロテクターが表示されていません。切断作業する場合に「プロテクター」は絶対に外さないでください。



警告

1. 切断作業を行う場合は、常に周囲と作業者自身の位置と姿勢に十分気をつけてください。
2. 本文 8 ページの切断能力を参照していただき、能力以上の鉄筋は絶対に切断しないでください。
3. 鉄筋以外の材料は切断しないでください。鉄筋以外の材料を切断する場合は最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。
4. 鉄筋を絶対に2本以上同時に切断しないでください。切断片が高く飛んだりして負傷する恐れがあります。また複数の鉄筋が予想外の動きをして手指をはさむなど負傷する恐れがあります。

1. 左図のように、鉄筋を切断口に、カッターヘッド側の刃物に対して直角になるようにセットしてください。
このとき、鉄筋の太さ（直径）にあわせて「押えボルト」とその「押えナット」を必ず調節し、固定してください。鉄筋はこのボルトの頭部で支えられて、切断時にも刃物に対して直角をたもちます。

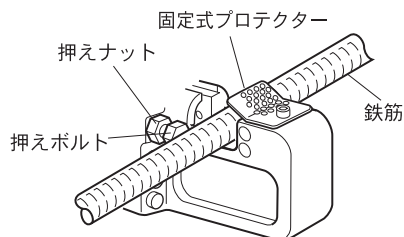
警告

鉄筋を切断する場合には、切断する鉄筋の太さ（直径）にあわせて、押えボルトおよび押えナットを必ず調節し、刃物に対して直角になるようにセットしてください。この調節をおこたりますと、切断の方向その他の条件によっては切断片が高く跳ねたり強く飛んだりして負傷する恐れがあります。

2. 単相 100V 電源にプラグを差し込んでください。
このとき、HBC-22は必ず接地（アース）してください。
 3. 左図のように、鉄筋を刃物と刃物のあいだに深く置いてください。
- 注) HBC-519、22、225、232 は可動式プロテクターが設置されています。鉄筋を刃物と刃物のあいだに深く置いてからプロテクターを切断口にかぶせてください。他の機種には固定式プロテクターが設置されています。鉄筋を刃物と刃物のあいだに深く置いて切断片がプロテクターに接触しないようにしてください。

注意

1. プロテクターは絶対に外さないでください。
2. プロテクターは鉄筋の切断片が作業者側へ飛散するのを防止する装置です。誤った使い方した場合や、鉄筋の切断片が鉄筋の延長方向へ飛散した場合には効果を発揮しません。誤った使い方は絶対にしないでください。また、鉄筋の切断片が飛散する方向には十分注意して作業をおこなってください。



⚠ 警告

鉄筋をセットする位置が浅い場合には、切断の瞬間に鉄筋の切断片や破片が飛ぶことがあります危険です。
また、刃物が破損する原因にもなります。正しく鉄筋をセットしてください。

⚠ 警告

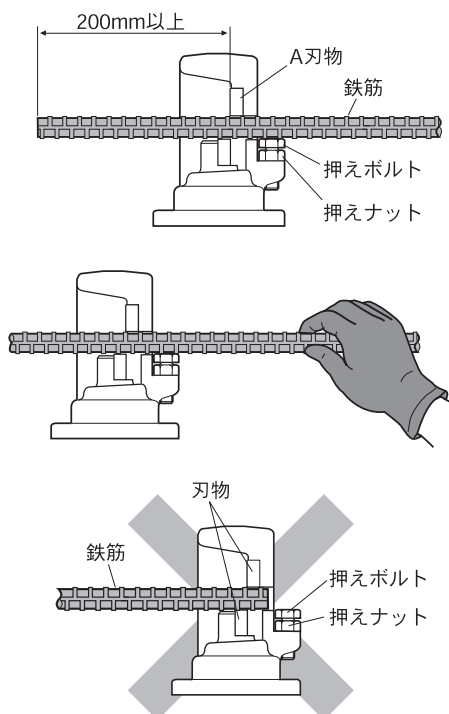
切断片が200mm以下では切断はしないでください。
200 mm以下で切断した場合は、切断片が異常に高く跳ねたり、飛んだりして負傷する恐れがあります。

⚠ 警告

鉄筋が押えボルトにかからないような方向と長さでは、絶対に切断しないでください。鉄筋を切断する場合には、押えボルト側の鉄筋を必ず保持して切断してください。保持しない場合は、切断した鉄筋が異常に高く跳ねたり、飛んだりして負傷する恐れがあります。

⚠ 警告

破損（刃欠け、ひびわれ）したり、変形した刃物はすみやかに交換してください。鉄筋切断の際にはずれたり、われたりして重大な事故になる危険があります。



4. スイッチを入れると、刃物がついた「カッターロッド」が前進し鉄筋を切断します。このとき、「カッターロッド」が先端まで前進し停止するまでスイッチは引いたままにしてください。

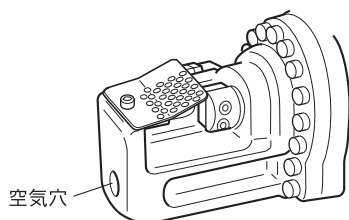
5. スイッチを切ると「カッターロッド」はもとの位置までもどります。

「カッターロッド」は、先端まで前進し停止するまでは、途中でスイッチを切ってももとの位置へはもどりません。これは、機械内部の油圧制御バルブが中間位置では開放しないためです。同様に、「カッターロッド」がもとの位置まで完全にもどるまでは、スイッチを入れても再び前進しません。

「カッターロッド」が完全にもとの位置までもどり停止してから、次の切断のためにスイッチを入れてください。機械本体の外部表面の温度が70℃をこえるとパワーが低下します。いったん冷却のために使用をやめてください。

⚠ 警告

抗張力の高い(硬い)鉄筋や輸入された硬い鉄筋を切断する際に切断片が飛んで負傷する恐れがあります。周囲の安全を十分にお確かめのうえ作業をしてください。また、不測の場合に備えて作業者は保護メガネをご使用ください。

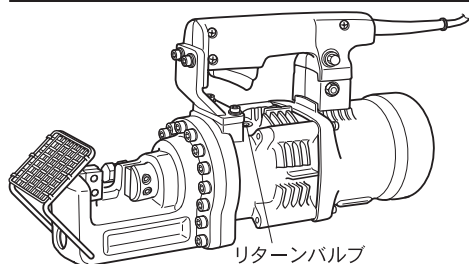


	警告 ・機械の運転中には刃物類や他の回転部、摺動部および切り屑の排出部に手や顔などを近づけないでください。 ・使用後または停電の際は必ずプラグを電源から抜いてください。	
--	---	--

注

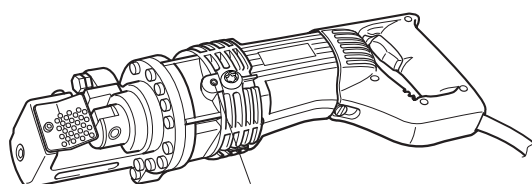
カッターヘッド先端の空気穴を泥やほこりなどでふさがないでください。油量を調整する大切な空気穴です。

リターンバルブの使用方法 (HBC-613, 316, 816, 519, 22, 225, 232)



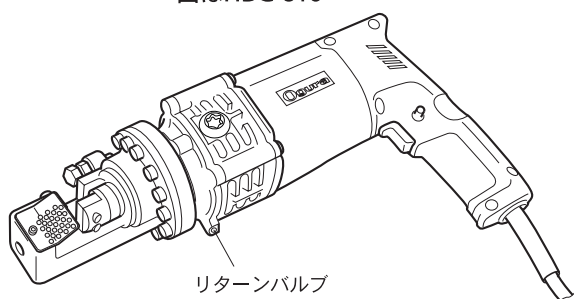
図はHBC-519

- 本機の「リターンバルブ」は、鉄筋切断時のトラブルにも対応できる便利な機能として設置されています。鉄筋を切断する際に、もし切断途中でカッター刃物が材料にくいこんだまま停止してしまった場合などには、リターンバルブを付属の六角棒レンチにて時計回りと反対の方向へ半回転ほど緩めることで、本体内部の油圧が解放されて、カッターロッドはもどります。トラブルを解消したあとは必ず再びリターンバルブを締め込んでください。次の切断ができます。



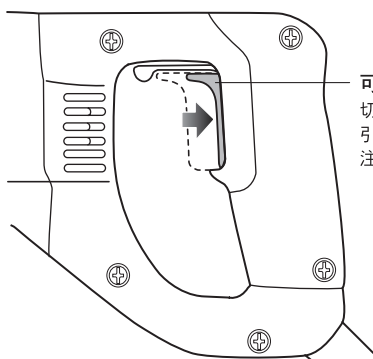
図はHBC-816

注意 リターンバルブは、1回転以上は緩めないでください。緩めすぎると油が漏れ出るおそれがあります。
--



図はHBC-316

スイッチの使用方法 (HBC-613)



可変スイッチ
切断の際はスイッチを最大に引いてご使用ください。
注意：中途の位置で鉄筋の切断をしないでください。



(HBC-613では使用しません。)

保守・点検について

お客様ご自身でオイルの交換・補充はしないでください！

この油圧製品は、通常の状態であればオイル(油圧作動油)が外部へ漏れ出ることはありません。もし、製品本体から外部へオイル漏れを発見された場合には、オイルの補充では直すことはできません。いずれの場合も、お客様ご自身でオイルの交換・補充はなさらずに、お買い求めの販売店または弊社支店営業所に修理をお申し付けください。

始業前点検を励行してください！

本取扱説明書のP.3～P.7「安全上のご注意」には、「警告」及び「注意」に分けて重要事項についてご説明しています。ご使用前に必ずよくお読みください。また、以下については始業前に点検を励行してください。



点検時は、あらかじめ必ず電源プラグを抜いてください。

- ・お客様の取り付けたボルトの締め付けを確認し、必要に応じて増し締めをしてください。
- ・刃物に亀裂や破損がないことを確認してください。亀裂や破損がある場合には、必ず未使用品の純正品と交換してください。

MEMO

[illegible]

● 部品のご用命、故障等については、弊社支店、営業所または販売店へ下記の事項をご確認の上お問い合わせください。

機械の型式・製造番号	ご使用の経過年数
故障の箇所および状況	部品および部品番号

製造発売元
株式会社



本社	〒243-0417	神奈川県海老名市本郷2661	TEL. 046(238)1284	FAX. 046(238)4188
札幌出張所	〒003-0807	札幌市白石区菊水7条4-2-1	TEL. 011(837)5811	FAX. 011(837)5812
仙台営業所	〒984-0824	仙台市若林区遠見塚東14-8	TEL. 022(282)1055	FAX. 022(282)1058
東京支店	〒144-0052	東京都大田区蒲田4-39-9	TEL. 03(3734)8211	FAX. 03(3734)8215
名古屋営業所	〒463-0025	名古屋市守山区元郷2-908	TEL. 052(768)2477	FAX. 052(799)2805
大阪支店	〒550-0023	大阪市西区千代崎2-3-7	TEL. 06(6584)2091	FAX. 06(6584)4051
高松出張所	〒761-0121	高松市牟礼町牟礼3096-3	TEL. 087(845)3324	FAX. 087(845)3325
福岡営業所	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑2-9-36	TEL. 092(573)3365	FAX. 092(575)3272